

自然薯栽培ホルダーを使用した栽培方法

栽培時期

作付

4月下旬から6月上旬

収穫

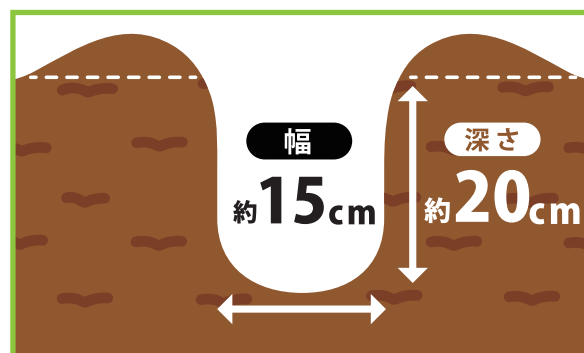
11月から3月

必要資材

- ① 自然薯ホルダー ② 種いも ③ 園芸スコップや熊手
- ④ くわ ⑤ 案内棒 ⑥ キュウリネット等のネット
- ⑦ 支柱 ⑧ 完熟堆肥等肥料 ⑨ 園芸用 U 字型ピン
- ⑩ ホルダー内に入れる、有機物の入っていない山砂など

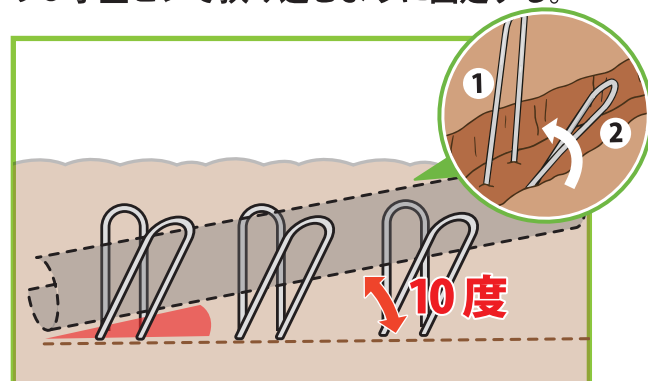
① ホルダーの埋設溝を掘る。

幅約15cm、深さ約20cmの溝をまっすぐに掘る。※畑の土にはあらかじめ肥料を入れて耕運しておく。



② 設置するホルダーの角度を決める。

ホルダーを地面から約10度の角度で仮設置し、2本の U 字型ピンで挟み込むように固定する。



③ 有機物の入っていない用土をホルダー内に入れる。

※写真は自作の木枠で1本ずつホルダーを支えています。



④ ピンの間に用土入りホルダーを設置する。

②で仮設置した角度の通り設置する。



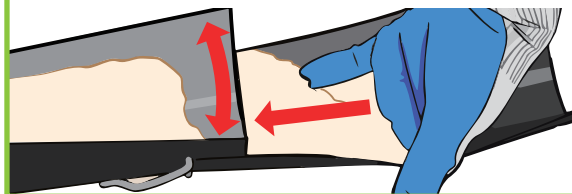
⑤ 株間 20cm でホルダーをずらしながら重ねて設置していく。

前のホルダーの中に、次のホルダーを入れ込みながら設置する。



ポイント

種いもから真下に伸びる生長点をホルダーで受け止めるために地表面に近いホルダーの端の下に指を使って枕土を入れ込み、できるだけ口を広げる。



⑥ 埋設溝を土寄せして押し固め、ホルダーを固定する。



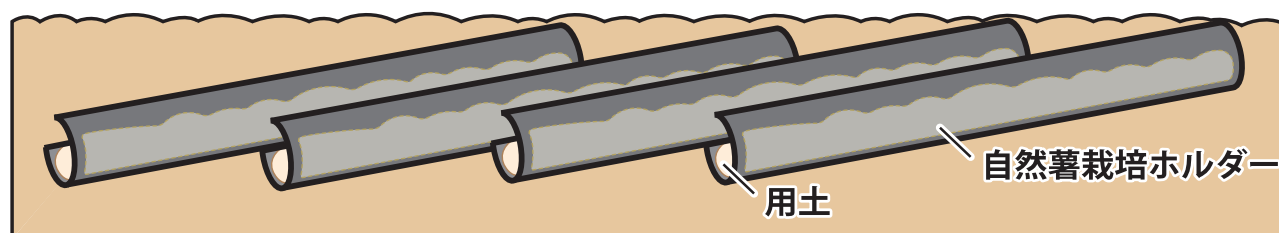
⑦ ホルダーいっぱい用土を追加する。



⑧ 畑の土の高さをホルダーの高さに揃え、押しピンを取り除く。

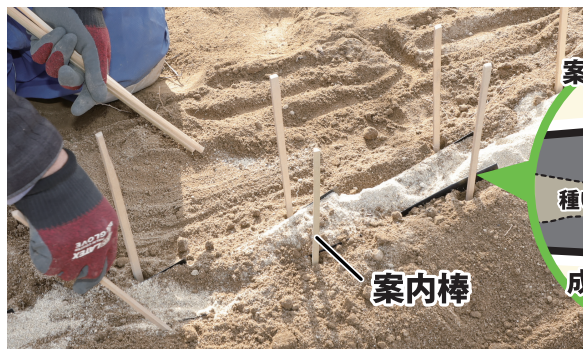


▼ ⑧完了後のホルダーの状態



⑨ 案内棒を設置する。

地表面に近い側のホルダーの両脇に、端から 5cm 以上の余裕をもって案内棒を立てる。



案内棒とは

種いもの植え付け位置の
目安となる棒のこと。

30 cm 程の割り竹や
木材を用意する。



⑩ 両側からホルダー上に 5 cm 程覆^{ふく}土し、種いもを設置する。

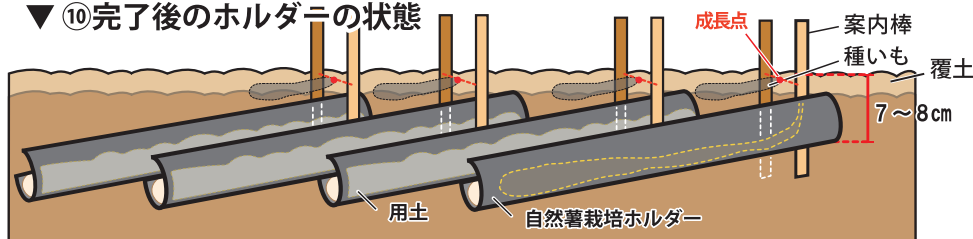
覆^{ふく}土後、種いもは案内棒の間に生長点を配置し、ホルダーの底面から 7~8 cm 上側に設置する。



※ホルダー内の用土の上に覆^{ふく}土し、
用土の上に直接種いもを置かない。



▼ ⑩ 完了後のホルダーの状態



⑪ 畝立てをし、案内棒を引き抜く。

※案内棒を設置したままにすると
病害の原因となるため、必ず抜き取る。



⑫ 収穫までの主な作業

- 定植後早めに支柱を立てネットを張る。
- 7~8 月頃追肥を行う。



⑬ 収穫

ホルダーごと芋を土から引き抜く。
11 月~3 月ごろまでに行う。

